



2024年8月9日

各位

会社名 株式会社デュアルタップ
代表者名 代表取締役社長 臼井 貴弘
(コード: 3469)
問合せ先 執行役員経営企画室長 大野 慎也
(TEL. 03-6849-0055)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2023年8月15日に公表しました2024年6月期(2023年7月1日～2024年6月30日)の通期連結業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 2024年6月期 通期連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 180	百万円 100	百万円 30	円 銭 8.74
今回修正予想(B)	5,172	▲255	▲331	▲386	▲112.54
増減額(B-A)	▲3,827	▲435	▲431	▲416	—
増減率(%)	▲42.5	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2023年6月期)	8,627	307	272	192	56.08

2. 修正の理由

当連結会計年度におきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益ともに、期初に発表した予想値を下回る見通しとなりました。

売上高未達の主な要因としましては、不動産販売事業において、販売・開発用不動産の仕入れは順調だったものの、最終月である6月決済見込みとして計画に折り込んでいた複数の不動産売却案件の決済時期がずれ込んだことによるものです。また、原材料・建築費等の高騰による物件価格の上昇などにより、当社の不動産販売(一棟販売、戸売り販売)が伸び悩んだことによります。戸売り販売においては、中古物件は販売計画戸数を達成しましたが、ゼロ金利解除による金利上昇不安の高まりなどもあり、リピートでの購入数が想定を下回る結果となりました。

不動産管理事業につきましては、営業努力による管理物件契約数の増加及び、不要なコスト等の削減等により計画を上回る利益を見込んでおります。

以上の結果により、全社で販売費及び一般管理費の削減等に取り組みましたが、想定していた利益を確保できず、期初に発表した予想値を下回る見通しとなりました。

なお、上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

3. 配当予想

配当予想の変更はありません。

以上